

(8) 近畿



近畿地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しに足踏みが見られる。
- ・ 個人消費は緩やかに持ち直している。
- ・ 雇用情勢は緩やかに持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)

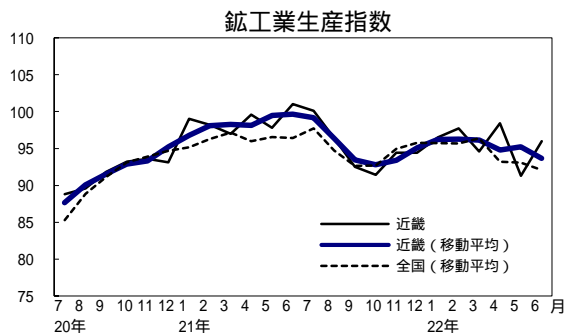
前回からの主要変更点

	前回(令和4年6月)	今回(令和4年9月)
景況判断	持ち直しの動きがみられる	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。
鉱工業生産	持ち直しの動きがみられる	持ち直しに足踏みが見られる
個人消費	このところ持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直している
雇用情勢	持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直している

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直しに足踏みが見られる。

4 - 6月期の鉱工業生産は、電子部品・デバイスや窯業・土石製品が低下したこと等により、前期比1.1%減となった。



(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。近畿の最新月は速報値。
2. 全国及び近畿の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1 - 3 月期	4 - 6 月期	4月	5月	6月
化学	12.4	2.8	0.7	0.5	2.1	2.4
電気・情報通信機械	11.7	2.8	4.2	15.5	16.8	8.2
汎用・業務用機械	10.4	2.4	1.2	3.3	4.6	2.7
生産用機械	10.1	1.5	0.7	13.2	13.2	7.0
輸送機械	8.7	1.9	3.0	11.0	24.4	11.1
鉱工業	100.0	3.1	1.1	4.0	7.2	5.1

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 4 - 6月期、6月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費は緩やかに持ち直している。

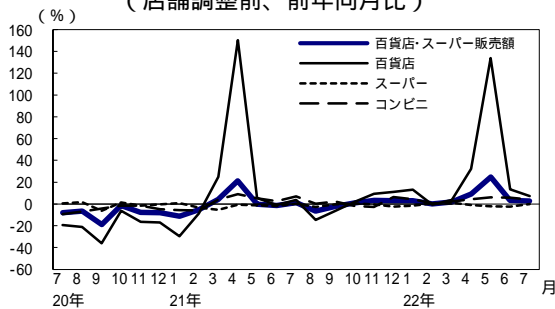
(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

4 - 6月期は前期比2.2%増となった。月別にみると、4月は前月比0.1%増、5月は同3.2%増、6月は同3.0%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

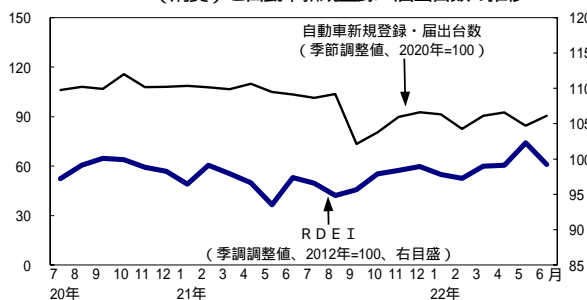
百貨店・スーパーは、4 - 6月期は前年同期比11.6%増となった。月別にみると、4月は前年同月比9.1%増、5月は同24.7%増、6月は同3.2%増となった。

百貨店・スーパー販売額等
(店舗調整前、前年同月比)



	2022年4-6月	2022年4月	5月	6月	7月
RDEI(消費*1)	2.2	0.1	3.2	3.0	-
百貨店・スーパー(*2)	11.6	9.1	24.7	3.2	2.8
百貨店(*3)	44.7	32.3	133.9	13.3	7.4
スーパー(*3)	1.7	0.8	2.0	2.3	0.0
コンビニ(*3)	5.4	4.4	6.1	5.7	4.0
乗用車(*4)	16.2	17.1	18.8	13.0	6.9
(季節調整値)(*4)	1.1	2.2	8.7	7.1	7.5

RDEI (消費) と自動車新規登録・届出台数の推移



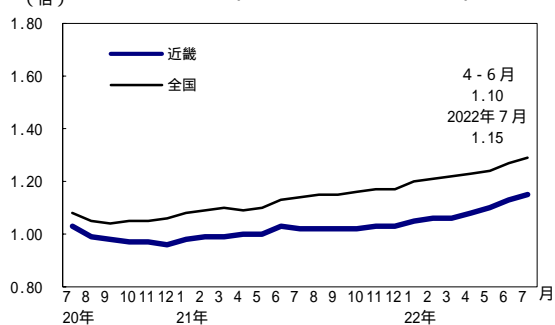
- (備考)
1. 季節調整済前期(月)比(%)
 2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)
百貨店・スーパーは内閣府にて算出。
2022年7月は速報値。
 3. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)
百貨店、スーパー及びコンビニは、経済産業省の近畿(福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)の値。
2022年7月は速報値。
 4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

3. 雇用情勢

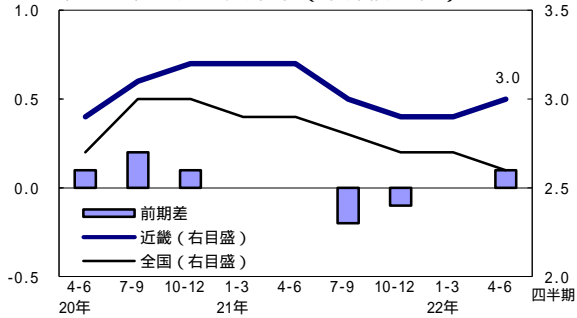
雇用情勢は緩やかに持ち直している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を上回っている。

(倍) 有効求人倍率 (季節調整値、就業地別)



(ポイント) 完全失業率 (季節調整値) (%)



(13) 景気ウォッチャー調査 (令和4年8月調査) 景気判断理由の概要

8. 近畿

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

分野		判断	判断の理由	
現状	家計 動向 関連	□	・夏休みでもあり、家族連れが目立つなど、新型コロナウイルスの感染拡大による影響はほとんど感じられない (コンビニ)。	
		▲	・食品を中心に値上げの影響があり、客の商品の買い方がシビアになっている。通常は広告を入れると、お買い得商品のほかに定番商品も売れるが、最近はお買い得商品だけを買う客が増えている。1人当たりの買上点数も落ちている (スーパー)。	
		○	・今年の夏休みは子供向けイベントも復活し、家族での来店が増えるとともに、滞在時間も長くなり、にぎわいが戻ってきている (百貨店)。	
	企業 動向 関連	□	・とにかくハーネスやコネクタなどの電子部品の入手に苦労している。取引先の購買意欲は改善しており、見積依頼は増えているが、こちらから断るケースが続出している (電気機械器具製造業)。	
		▲	・業務用の製品は上向いているが、家庭用は苦戦している。原材料や資材が値上がりするなか、業務用製品は少しずつ値上げできているが、家庭用は競争もあって苦戦している (食料品製造業)。	
		○	・新型コロナウイルス感染症の発生前と比べれば低調であるが、数か月前との比較では、少なくとも下降や横ばいではなく、上昇傾向にある (一般機械器具製造業)。	
	雇用 関連	□	・求人数は新型コロナウイルス感染症の発生前に戻っているが、求職者は前年の半分程度である。仕事内容にもよるが、転職の動きには慎重さがみられる (人材派遣会社)。	
		○ ▲	・依然として、求人に合った人材が見つかりにくい (人材派遣会社)。 ・目標人数を確保できなくても採用活動を終える企業が出てきており、採用が量より質に転換してきたように感じる (学校 [大学])。	
	その他の特徴 コメント			□：暑さや夏休みに入った影響で、昼間の乗客数は増加している (タクシー運転手)。 ▲：相変わらず、住宅建材関係の値上げが続いている (住宅販売会社)。
	先行き	家計 動向 関連	□	・コロナ禍による巣籠り需要の反動減も、ようやく収まりつつある。今後は、ようやく例年のような状況に戻ることが期待される (家電量販店)。
▲			・物価の上昇で家計の余裕が少なくなり、外食への支出も減少傾向が続く。新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着くまでは、厳しい状況が続くと予想される (一般レストラン)。	
企業 動向 関連		□	・加工度の高い、利益の取れる商材は売れず、利益率の低い安価な商材は売れるが、販売量は伸びない。年末に向けて需要の増加が見込まれるものの、この構造は変わらないと予想される (化学工業)。	
		▲	・新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、円安の状態が続いており、輸入品の更なる値上げもあるため、悪くなる (その他非製造業 [機械器具卸])。	
雇用 関連		□	・コロナ禍に加え、円安や資源相場の高騰による物価の上昇、ウクライナ危機、中国経済の減速、台湾有事への不安など、国内外に懸念材料が山積している。関西は体力の弱い中小企業が多く、各社もこれらの不安材料を意識して、本格的な求人に踏み込んでいない。どの懸念材料も解消される見通しが立っておらず、今後も厳しい状況が続くと予想される (新聞社 [求人広告])。	
その他の特徴 コメント			○：全国旅行支援が始まれば、今よりも申込みが増えそうであり、問合せも増えてきている。海外からの帰国前検査などの水際対策も緩和されれば、海外旅行も徐々に復活すると予想される (旅行代理店)。 ▲：コロナ禍の収束時期がなかなか見通せないなか、ぜいたく品やし好品の買い控えが心配である (一般小売店 [菓子])。	

(D I) 現状・先行き判断D Iの(近畿)推移(季節調整値)

